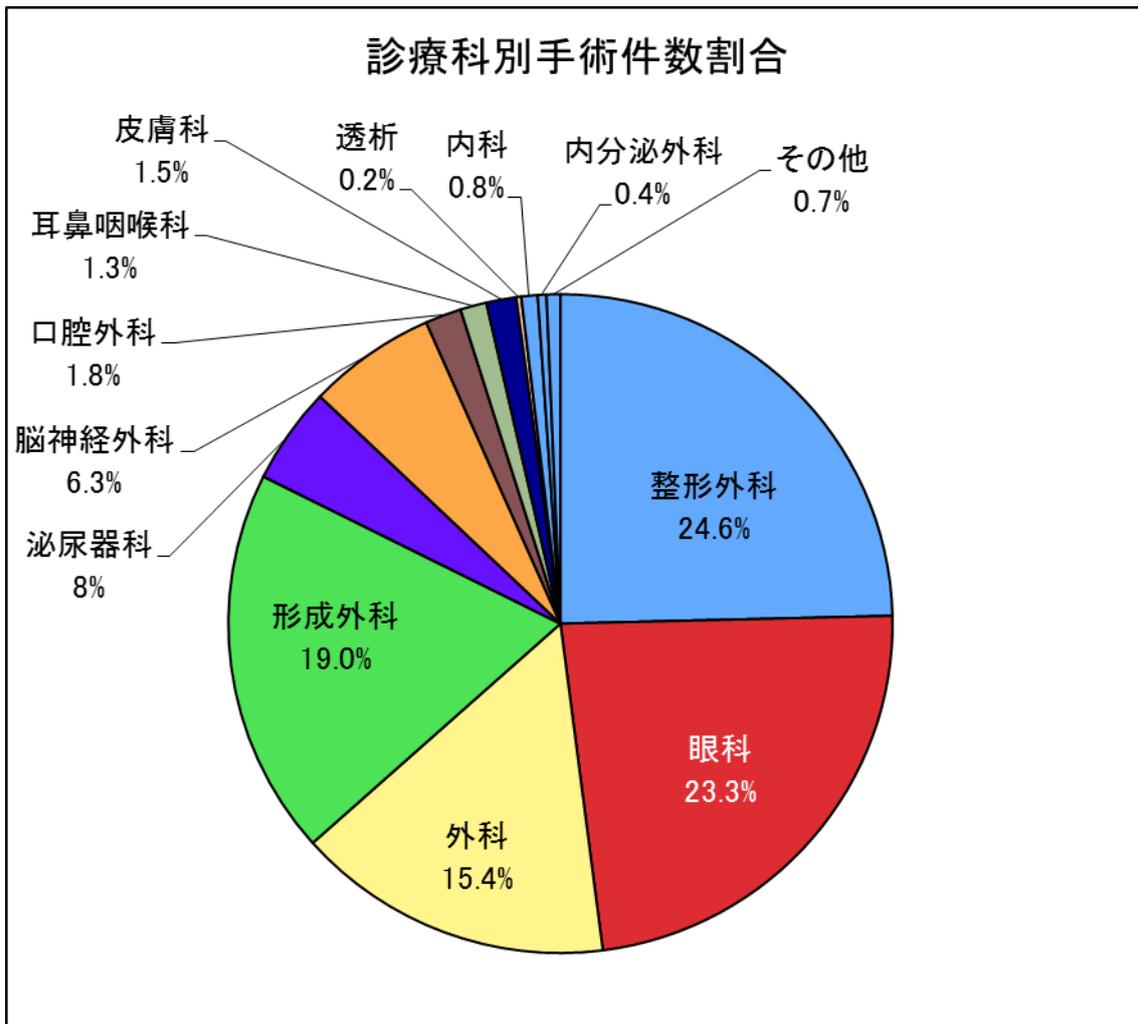


II 診療実績



1. 内科

特任副院長・腎臓内科部長・透析センター長 中村日出子

2013 年度の内科系診療は 16 名の内科系常勤医（循環器内科 6 名、消化器内科 2 名、糖尿内科 2 名、血液内科 2 名、神経内科 2 名、腎臓内科 1 名、療養型病床担当 1 名）と各種内科系非常勤医が担当しました。

また当院は、日本内科学会教育認定施設および循環器専門医研修施設、血液研修施設、腎臓学会認定施設、透析学会認定関連施設などに認定されており、2013 年度は 3 名の初期研修医の研修を含め、各専門医の研修も行いました。今後、さらに臨床研修をすすめ、地域の中核病院として十分な役割を果たして行くつもりです。

疾病・術式・検査	H25 年 (件)
透析センター	
新規血液透析導入患者数	12
糖尿病性腎症	9
慢性糸球体腎炎	2
腎硬化症	1
転入血液透析患者数	3
腎移植施行患者数	1
内シャント設置術施術（新規 12・再建 8）	20
自己血管による AVF	20
上腕動脈表在化	0
内シャント血管瘤切除術	1
内シャント血管造影・シャント PTA	11
経皮的腎生検	1
代謝・内分泌系	
糖尿病教育入院	68

循環器内科系

心臓 MRI	11
冠動脈 CT	159
心臓カテーテル検査	203
経皮的冠動脈形成術	150
経皮的末梢動脈形成術	5
恒久的ペースメーカー植込術	11
ジェネレーター交換	3
急性心筋梗塞	38

2. 総合外科・消化器外科

外科部長 曾我直弘

2013年の外科手術件数は290症例を数えました。2012年よりは若干下回りましたが、コンスタントに症例を重ねている状況です。内分泌外科は八代先生、肛門疾患は小倉先生、乳腺疾患は青山先生と非常勤医師の先生方にも御尽力いただいています。今後も患者さん主体の外科医療を実践し、より質を向上させて期待に応えられる診療体制をとっていきたいと考えております。

(2013年)

疾病・術式・検査名		(件)
胃、十二指腸		30
胃癌	幽門側胃切除	12
胃癌	胃全摘術	3
胃癌	噴門側胃切除術	1
胃癌	胃腺腫 内視鏡的粘膜下層剥離術	8
胃粘膜下腫瘍	腹腔鏡補助下胃部分切除術	1
出血性胃潰瘍	止血術	2
十二指腸潰瘍穿孔	単純閉鎖術	1
幽門狭窄	胃空腸吻合術	2
小腸		15
腸閉塞	小腸切除を伴う腸閉塞手術	6
腸閉塞	小腸切除を伴わない腸閉塞手術	2
クローン病	回盲部切除	1
クローン病	腹腔鏡補助下回盲部切除	1
外傷性小腸穿孔	腹腔鏡補助下小腸部分切除術	1
空腸 GIST	小腸部分切除+横行結腸合併切除術	1
回腸悪性リンパ腫	腹腔鏡補助下回盲部切除	1
回腸脂肪腫	小腸部分切除術	1
腹膜炎	小腸部分切除術	1

疾病・術式・検査名

(件)

大腸		57
結腸癌	リンパ節郭清を伴う開腹結腸切除術	22
結腸癌	リンパ節郭清を伴う腹腔鏡補助下結腸切除術	9
直腸癌、リンパ節郭清を伴う開腹直腸切除術（切断術含む）		10
直腸癌	リンパ節郭清を伴う腹腔鏡補助下直腸切除術	1
直腸癌	経肛門的腫瘍切除術	4
大腸癌	人工肛門造設術	3
大腸穿孔（良性疾患）腹膜炎	ハルトマン手術	1
結腸憩室出血	腹腔鏡補助下拡大右半結腸切除術	1
S 状結腸軸捻転症	ハルトマン手術	1
結腸人工肛門造設術後	人工肛門閉鎖術	4
結腸癌	バイパス術	1
胆道		43
胆石、胆嚢炎	開腹胆嚢摘出術	2
胆石、胆嚢炎	腹腔鏡下胆嚢摘出術	40
胆石、胆嚢炎、胆管結石	胆摘+胆管結石摘出	1
膵、膵頭部領域、脾臓		2
感染性膵嚢胞	膵体尾部切除術	1
下部胆管癌	亜全胃温存膵頭十二指腸切除	1
肝		9
肝細胞癌	肝切除術	3
転移性肝癌	肝切除術	5
肝内結石症	肝切除術	1
頸部		7
甲状腺腫瘍	甲状腺（右又は左葉）切除	3
甲状腺腫瘍	甲状腺全摘	4
乳腺		18
乳癌	Bt+Ax	10
乳癌	Bp+Ax	5
乳腺腫瘍	摘出	3

疾病・術式・検査名

(件)

虫垂		23
虫垂炎	開腹虫垂切除術	4
虫垂炎	腹腔鏡下虫垂切除術	19
腹壁		56
鼠経ヘルニア	ヘルニア根治術	47
大腿ヘルニア	ヘルニア根治術	2
大腿ヘルニア嵌頓	小腸部分切除+ヘルニア根治術	2
腹壁癒痕ヘルニア	ヘルニア根治術	4
ヘルニア手術後セローマ		1
肛門		10
痔核	結紮切除術	1
痔瘻	根治術	2
肛門周囲膿瘍	切開排膿術	3
肛門裂傷	縫合術	2
肛門ポリープ	切除術	1
壊死性筋膜炎	切除+ドレナージ術	1
リンパ節腫脹		7
開腹リンパ節生検		2
体表リンパ節生検		6
体表		10
皮下埋め込み型カテーテル挿入術		5
体表腫瘍	切除術	5
その他		3
合計		290

麻醉法別手術件数

全身麻酔	255
脊髄麻酔	10
局所麻酔	17
静脈麻酔	8
合 計	290

3. 小児科

小児科部長 恩田 真弓

2013 から 2014 小児科の特徴である急性呼吸器感染症、消化器感染症が外来の多数を占めていました。ロタウィルスワクチンが開始されロタウィルス胃腸炎の減少が期待されましたが、2013 冬は明らかに減った印象はありませんでした。2013 冬から 2014 春にかけて Influenza がまた流行しました。今シーズンの特徴としては、例年の A 型から始まり春に B 型が増えるパターンと異なりシーズンをとおして B 型 Influenza が流行しました。当科では幸い脳症など重篤な合併症をきたした患児はいませんでした。

予防接種では、1 回に接種出来る種類が増え、インターバルも変更になるなど多少混乱が続きましたが概ね順調に接種出来ています。2014 秋から水痘が定期接種になります。

子宮頸癌予防ワクチンが開始されました。筋肉内接種のため疼痛が強いのは予想されておりましたが、全国的に複合性局所疼痛症候群の発生が問題となり、一時的に接種が見合わされました。860 万接種に 1 回程度発生すると言われていました。当科でも多数の女性に接種いたしました。やはり痛いと訴える女児は多かったですが、幸い同症候群をきたした例は認めませんでした。現在接種可能となっています。

Influenza ワクチンは積極的に奨励していますが、まだまだ接種する方が少なく残念です。1 歳未満の赤ちゃん、高齢者、受験生のいるご家族などは家族ぐるみでの接種をしていただきたいものです。

Influenza ワクチンを始めロタウィルスワクチン、B 型肝炎ワクチン、おたふくかぜワクチン等未だ任意接種のワクチンも多く、なるべく早く予防接種が子供たち全てに出来るよう期待しています。

アレルギー性疾患は、喘息をはじめ罹患されている児は多数来院されます。近年抗アレルギー剤の進歩に伴って喘息のコントロールは良好な経過をたどるようになりました。今年も重症の発作をきたした例は当院では有りませんでした。

1 昨年より筑波メディカルセンター病院小児科の T-PAN（筑波小児アレルギーネットワーク）に参加し、アレルギー疾患で筑波メディカルセンター病院小児科とも連携し診療にあたっています。

小児科 恩田真弓, 稲見由紀子

予防接種	(件) H25 年
BCG	37
B 型肝炎	144
アクトヒブ R (インフルエンザ桿菌)	429
ムンプス (流行性耳下腺炎：おたふく風邪)	101
水痘 (水ぼうそう)	113
MR (麻疹、風疹)	209
インフルエンザ	936
二種混合	39
三種混合	186
日本脳炎	383
子宮頸がん	24
肺炎球菌	418
合 計	3,019
乳児健診	141

4. 内視鏡科

術式・検査名		(件) H25 年
内視鏡	上部消化管（人間ドックを含む）	3,469
内視鏡	下部消化管（人間ドックを含む）	725
内視鏡	膵胆管造影（内視鏡的十二指腸乳頭切開術を含む）	43
経皮的内視鏡的胃瘻造設術		26
合 計		4,263

5. 脳神経外科

副院長・脳神経外科部長 竹下 幹彦

当院の脳神経外科は、頭部外傷、くも膜下出血や脳内出血、脳梗塞などの脳血管障害や脳腫瘍の診断・治療を行っております。脳内血腫に対し血腫除去術を、破裂動脈瘤に対し開頭によるクリッピング術や東京女子医科大学脳神経外科血管内治療グループと共に血管内治療(コイル充填術)も行っております。未破裂脳動脈瘤で手術適応のある方には同様の治療も行っております。また、発症4.5時間以内の脳梗塞患者さんには、t-PAによる積極的な治療およびその後の脳梗塞に対する治療と共に、適応のある患者さんには脳主幹動脈閉塞による脳梗塞急性期患者の血管内治療(血栓溶解術)も行っております。脳卒中後等の片麻痺や失語症に対するリハビリテーションを行うと共に、茨城県南地域脳卒中連携パスの運用も行っております。また、適応のある患者さんには頸部内頸動脈狭窄症に対するステント留置術や慢性脳虚血患者に対する浅側頭動脈—中大脳動脈吻合術も行っております。

術式・検査名	(件) H25年
脳腫瘍	
開頭摘出術	5
脳血管障害	
破裂脳動脈瘤	17(*2)
未破裂脳動脈瘤	5
頸部内頸動脈ステント留置術	0
脳動静脈奇形	2
高血圧性脳内出血	7
血栓溶解術	*3
外傷	
急性硬膜外血腫	0
急性硬膜下血腫	11
慢性硬膜下血腫	38
水頭症	
脳室シャント術	12
脳神経減圧術	0
その他	28
合 計	128

(*血管内手術)

6. 整形外科

副院長・整形外科部長 梅原 新英

相変わらず常勤医 3 名の医師不足のもとで、2013 年は前年より約 20 件多い 458 件の手術を行いました。2014 年 4 月より常勤が 4 名に増え、しかも私以外はやる気満々の若手なので、負担が軽減されるとともにこれまで以上に積極的な診療が可能となりました。非常勤医も充実しており、今後も骨折など外傷に対する治療が主体となりますが、『股関節外科』、『脊椎外科』、『スポーツ整形外科（膝関節など）』、『足の外科』、『肩関節外科』など幅広い分野に対応していきます。

術式・検査名		(件) H25 年
四肢・骨盤骨折	骨折観血的手術	164
四肢・骨盤骨折	関節内骨折観血的手術	5
四肢・骨盤骨折	人工骨頭挿入術	26
偽関節手術		4
変形治癒骨折	矯正手術	3
関節脱臼観血的整復術		5
関節脱臼非観血的整復術		13
関節拘縮	観血的関節授動術	2
骨折手術後など	骨内異物除去術	64
開放骨折・挫創など	デブリードマン、縫合	5
膝半月板損傷	半月板切除術・縫合術（関節鏡視下）	4
関節内遊離体（膝、肘）	関節鼠摘出術（関節鏡視下）	2
変形性肩関節症	人工肩関節置換術	1
肩腱板断裂手術（関節症視下）		8
反復性肩関節脱臼	関節形成術（関節鏡視下）	2
腱断裂（アキレス腱断裂含む）	腱縫合術、腱移行術	18
足関節靭帯損傷	靭帯縫合術、靭帯形成術	2
変形性股関節症	人工股関節置換術、再置換術	24
変形性股関節症	寛骨臼回転骨切り術	2
大腿骨頭壊死症	人工股関節置換術	2

術式・検査名

(件)

変形性膝関節症	人工膝関節置換術	11
変形性足関節症など	関節固定術	2
リウマチ性足部変形	関節固定術など	1
外反母趾	矯正術	8
頸椎症性脊髄症、頸椎椎間板ヘルニア、頸髄損傷など	椎弓形成術	16
頸椎症性脊髄症	前方固定術	4
環軸椎脱臼・骨折	体外式脊椎固定術	1
腰部脊柱管狭窄症	椎弓切除術	5
腰部脊柱管狭窄症、腰椎分離り症など	脊椎固定術	12
腰椎椎間板ヘルニア	椎間板切除術（鏡視下含む）	5
ガングリオン、滑液包	摘出術	2
ばね指、ドゥケルバン病	腱鞘切開術	12
肘部管症候群	神経移行術	3
手根管症候群	手根管開放術	4
閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽	切断術	7
その他		9
合 計		458

7. 形成外科

形成外科部長 高橋 元, 形成外科医長 安嶋 康治
形成外科一般を対象。創傷治癒の観点で傷をきれいにすることを心がけています。

術式・検査名	(件) H25年
腱縫合術 (切創等の創傷により) (6歳未満)	1
腱縫合術 (切創等の創傷により)	1
腱縫合術 (指)	2
腱移植術 (人工腱形成術を含む。) (指 (手, 足))	1
腋臭症手術 (皮弁法)	6
瘢痕拘縮形成手術 (顔面)	1
分層植皮術 (25点以上100点未満)	1
分層植皮術 (200点以上)	1
分層植皮術 (100点以上200点未満)	1
鼻骨骨折徒手整復術	2
鼻骨骨折整復固定術	2
皮弁作成術・移動術・切断術・遷延皮弁術 (25点未満)	6
皮膚切開術 (長径10cm未満)	78
皮膚切開術 (長径10cm以上20cm未満)	7
皮膚腫瘍摘出術 (露出部以外) (長径3cm以上, 6cm未満)	2
皮膚腫瘍摘出術 (露出部) (長径2cm未満)	5
皮膚腫瘍摘出術 (露出部) (長径2cm以上, 4cm未満)	2
皮膚血管腫摘出術 (露出部) (長径3cm未満)	1
皮膚悪性腫瘍切除術 (単純切除)	10
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術 (露出部以外) (長径3cm未満)	1
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術 (露出部以外) (長径3cm以上6cm未満)	1
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術 (露出部) (長径3cm未満)	7
皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部以外) (長径6cm以上)	5
皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部以外) (長径3cm未満)	51
皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部以外) (長径3cm以上, 6cm未満)	41
皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部) (長径4cm以上)	12
皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部) (長径2cm未満)	124
皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部) (長径2cm以上, 4cm未満)	45
皮下腫瘍摘出術 (露出部) (長径2cm未満)	1
動脈 (皮) 弁術	1

爪甲除去術	9
創傷処理（長径5 cm以上10 cm未満 筋肉、臓器に達するもの）	9
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの（長径5 cm未満））	23
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの（長径10 cm以上））	3
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径5 cm未満））	107
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径5 cm以上10 cm未満））	14
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径10 cm以上））	3
全層植皮術（25点未満）	5
全層植皮術（25点以上100点未満）	1
先天性耳瘻管摘出術	1
神経縫合術（指）（手）	3
神経腫切除術（指）（足）	1
小児創傷処理（6歳未満）（筋肉、臓器に達しないもの（長径2.5 cm以上5 cm未満））	12
手掌異物摘出術	1
耳介腫瘍摘出術	2
耳下腺腫瘍摘出術（耳下腺浅葉摘出術）	1
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（足）	1
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（手）	3
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（肩）	2
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（躯幹）	11
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（下腿）	1
骨折観血的手術（指）	2
口唇腫瘍摘出術（その他のもの）	1
血管縫合術（簡単なもの）	1
鶏眼・胼胝切除術（露出部で縫合を伴うもの）（長径2 cm未満）	5
筋肉内異物摘出術	1
筋（皮）弁術	1
眼瞼下垂症手術（眼瞼挙筋前転法）	20
眼瞼下垂症手術（その他のもの）	2
陥入爪手術（爪床爪母の形成を伴う複雑なもの）	5
陥入爪手術（簡単なもの）	42
ヘルニア手術（臍ヘルニア）	1
デブリードマン（100点未満）	3
ガングリオン摘出術（足）	1
合 計	717

8. 泌尿器科

特任副院長・泌尿器科部長 松木 克之

当科は尿路（腎臓・尿管・膀胱・尿道）と男性性器（前立腺・精嚢腺・精管・精巣上体・精巣）副腎等の感染症・外傷・先天性疾患・結石・尿路閉塞疾患・悪性腫瘍を主に対象として診療しております。

術式・検査名	(件) H25年
腎摘（根治的）	1
腎瘻増設	0
腎尿管全摘出	2
TUL	0
尿管切石術	0
尿管鏡	0
尿管拡張	1
尿管カテーテル	3
尿管ステント留置	8
膀胱部分摘出	1
TUR-Bt	31
経尿道膀胱碎石 / 開腹	4/0
TUC 血塊取り	2
水圧療法（膀胱拡大）	1
TUR-P/HoLEP	6/0
前立腺生検	26
包茎（環状切除）	1
精巣摘出	1
精液瘤	3
合 計	91
体外衝撃波	15

9. 皮膚科

皮膚科 田中 未知

当院皮膚科では、常勤医師2名、非常勤医師2名（水曜日午後は筑波大学医学医療系皮膚科 藤本学教授）で診療を行っています。皮膚科一般診療を中心として、他に脱毛のレーザー治療、局所麻酔下の小手術、円形脱毛症の SADBE 治療なども行っています。手術は中央手術室で行います。

術式・検査名	(件) H25 年
レーザー脱毛	36
デブリードマン（100点未満）	1
陥入爪手術（簡単なもの）	1
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径5cm未満））	2
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	4
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm以上，6cm未満）	3
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	21
皮膚切開術（長径10cm未満）	43
合 計	75

10. 眼科

眼科医長 山本 敏哉

外来にて眼科疾患全般を診ています。平成 25 年 5 月より常勤医が 1 名増え、新入医師の外来及び手術手技の指導を行うとともに、よりスムーズな外来に努め、できるだけ多くの手術治療が行えるよう力を注いでいます。

また、今後も関連病院との連携を強め、地域医療の役に立てるよう出来るだけ精進していきたいと思っています。

疾患および術式	(件) H25 年
白内障：超音波乳化吸引術＋眼内レンズ挿入術	379
白内障：超音波乳化吸引術＋眼内レンズ挿入術＋前部硝子体切除術	5
白内障：囊外摘出術＋眼内レンズ挿入術＋前部硝子体切除術	1
白内障：超音波乳化吸引術	1
眼内レンズ偏位：眼内レンズ整復	1
眼内レンズ度数ずれ：眼内レンズ交換	2
瞳孔偏位：瞳孔整復	1
後発白内障：後発白内障手術	1
増殖糖尿病網膜症＋白内障： 硝子体切除術＋超音波乳化吸引術＋眼内レンズ挿入術	4
糖尿病網膜症＋硝子体出血：硝子体切除術	6
黄斑上膜＋白内障：硝子体切除術＋超音波乳化吸引術＋眼内レンズ挿入術	1
黄斑円孔＋白内障：硝子体切除術＋超音波乳化吸引術＋眼内レンズ挿入術	1
網膜剥離：網膜復位術	1
シリコンオイル注入眼：硝子体置換術	1
眼瞼内反症	7
翼状片	9
上眼瞼皮膚弛緩症	1
前房内異物	1
合 計	423

1 1. 歯科口腔外科

歯科口腔外科医長 山崎 善純

当科は、常勤医 2 名、非常勤医 1 名の小人数のため、一般歯科疾患（う蝕、欠損歯、歯周病等）は、治療対象とせず、口腔外科的疾患（埋伏智歯、外傷、嚢胞、腫瘍、顎関節症、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患、口腔感染症、口腔乾燥症、味覚障害、摂食嚥下障害などの口腔機能障害等）を対象の疾患として、診療を行っております。ただし、有病者（障害のある方、重度の基礎疾患のある方）および当院入院中の方についてのみ、一般歯科治療（齲蝕歯、義歯治療など）にも、対応しております。

基本的に、一般の歯科開業の先生と治療疾患を競合せずに、2 次医療機関（病院歯科口腔外科）での精査加療が必要と思われる方をご紹介いただいております。処置後には速やかに、紹介元の先生に戻っていただく、病診連携をとるように心がけております。また、歯科だけでなく、医科の開業医の諸先生方（内科、耳鼻咽喉科等）とも病診連携を心がけており、ご紹介頂ける先生も徐々に増加しております。また昨今のインターネット環境の整備により、ホームページを見て来院される方も散見されるようになりました。

外来の年間の新患数は、平成 20 年の 1,235 人、21 年の 1,415 人、22 年 1,598 人と年々増加してはいましたが、東日本大震災から、少し減少して、1,400 人代となっております。紹介患者数は平成 24 年 1405 人、25 年 1,407 人となっております。ご紹介を頂いている地域としては、牛久市、つくば市、龍ヶ崎市、土浦市、取手市、つくばみらい市、稲敷郡等、広範囲にわたっております。

入院症例は 43 例、手術症例は 35 例で昨年よりやや減少しております。

手術症例の内訳は、全身麻酔例が 11 例で、局所麻酔例は 24 例です。手術症例の内訳は、下表のとおりです。入院症例では手術目的のほかに、口腔領域の感染症（下顎・口底頬部蜂窩織炎 6 例）が散見されました。

	(件)
術式・検査	H25 年
抜歯	19
骨折(上顎・下顎・顔面骨)観血的整復固定	1
顎骨嚢胞摘出術	5
舌腫瘍(悪性)部分切除	1
頸部リンパ節郭清	1
上顎顎腫瘍(良性)切除	1
唾石症(顎下腺摘出)	1
術式・検査	

骨髓炎腐骨除去	2
骨折術後プレート除去	2
頸部リンパ節生検	2
骨折非観血的整復固定	1
消炎	6
外傷（裂傷）	1
合計	43

12. 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科医長 伊藤 昭彦

2014年4月から常勤医は2人になりました。外来はほぼ2診で行っています。手術も行っており、扁桃摘出術、鼓膜チューブ挿入術、鼻・副鼻腔手術、唾液腺腫瘍や頸部の手術も可能となっています。

入院はめまいや扁桃炎などの急性炎症疾患、突発性難聴などに対応しています。

術式・検査名	(件) H25年
扁桃周囲膿瘍切開術	2
鼻内上顎洞根治手術	4
鼻内異物摘出術	4
鼻中隔矯正術	3
鼻腔粘膜焼灼術	17
鼻甲介切除術（その他のもの）	2
皮膚切開術（長径10センチメートル未満）	1
内視鏡的食堂及び胃内異物摘出術	2
中咽頭腫瘍摘出術（経口腔によるもの）	1
唾石摘出術（表在性のもの）	1
舌腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	1
舌腫瘍摘出術（その他のもの）	1
上顎洞根治手術篩骨洞根治手術	5
耳下腺腫瘍摘出術（耳下腺浅葉摘出術）	1
口唇腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	2
口蓋扁桃手術（摘出）	12
口蓋腫瘍摘出術（口蓋粘膜に限局するもの）	2
鼓膜切開術	64
鼓膜（排液、換気）チューブ挿入術	13
気管切開術	4
気管切開孔閉鎖術	1
顎下腺摘出術	1
外耳道異物除去術（単純なもの）	6
咽頭異物摘出術（簡単なもの）	7
リンパ節摘出術（長径3センチメートル未満）	1
合 計	158

13. 麻醉科

麻醉科医長 板倉 美千代

術式・検査名	(件) H25年
全身麻酔症例	
外科	241
整形外科	232
口腔外科	11
脳神経外科	78
泌尿器科	8
形成外科	33
耳鼻咽喉科	13
内分泌科	6
静脈麻酔症例	
泌尿器科	10
産婦人科	0
整形外科	1
脊髄クモ膜下麻酔症例	
泌尿器科	52
形成外科	0
整形外科	13
外科	7
脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例	
整形外科	2
外科	2
伝達麻酔症例	
形成外科	2
合 計	714

14. 放射線科

当科では、主にCT、MRI、マンモグラフィー、上部下部消化管透視撮影、点滴静注腎盂尿路造影、その他依頼された一般撮影の画像診断を行っております。

尚、平成25年にデジタルマンモグラフィー装置が導入され、高画質で得られた画像での診断が可能となりました。

※撮影件数は、画像診断センターページに掲載しております。

【導入装置】



デジタルマンモグラフィー装置（日立メディコ社製）
平成25年5月設置